

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2017年12月)

平成30年2月  
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 9日、ウルドゥ・アッベスFLN党首は、先月の地方議会選挙の結果、約70の地方議会にてFLNが過半数を占めたと発言。
- 9日、未来戦線等の野党が、6日の米大統領によるエルサレムに関する決定を非難し、当国政府の立場を評価すると声明。
- 23日、ウーヤヒヤ首相、ハダッド経営者フォーラム(FCE)代表及びシディ・サイド全国労働者連盟(UGTA)事務局長間で三者会合が開催され、経済分野の公的企業における第三者の資本参加割合につき合意。
- 27日、ブーテフリカ大統領は閣議を主宰し、2018年予算法を承認し、1月12日をベルベル新年「ヤンナーイル」として祝日と決定。

2 外交

- 3日、メサヘル外務大臣は来訪の俞建華・商務部副部長兼国際貿易交渉副代表と会談。
- 4～5日、ベンサラ国民評議会議長、ブハジャ国民議会議長、ウーヤヒヤ首相は、来訪の陳元・中国人民政治協商会議全国委員会副主席とそれぞれ会談。
- 6日、来訪したマクロン仏大統領が、ブーテフリカ大統領と会談し、経済協力、テロ対策及び査証政策等につき協議。
- 7日、ウーヤヒヤ首相が訪仏し第4回仏アルジェリア高等政府間委員会を開催。経済、職業訓練、保健、文化等に関する合意文書11件に署名。
- 7日、当国外務省は、6日の米国によるエルサレムのイスラエル首都としての承認等を非難し、パレスチナ人の権利に対する支援を表明し、その国家的諸権利及び聖地の国際的状況の尊重のため、国際社会に対し必要な措置を執るよう呼び掛けると声明。
- 9日、メサヘル外務大臣はアラブ連盟臨時会合において米国によるエルサレムに係る動きを非難。
- 10日の人工衛星アルコムサット1号の打ち上げ成功を受けて、ブーテフリカ大統領と習近平国家主席は祝電を交換。
- 10日～11日、AU委員会及びアルジェリア政府共催のテロ対策に関するハイレベル・フォーラムが当国オランにて開催。メサヘル外務大臣、チェルギAUC平和・安全保障担当委員、ゼリフーン国連政務局次長らが出席。

- 17日、シラージュ・リビア首脳評議会代表（国民統一政府（GNA）首相）は、スキラト合意2周年を目前とした欧米歴訪後、来訪し、ウーヤヒヤ首相と会談。
- 19日、ウーヤヒヤ首相、来訪したアール＝シェイク・サウジアラビア諮問評議会議長及びムハンマド・カタール副首相兼外相とそれぞれ会談。

### 3 治安

- 2日、セティフ県において、巡回中の治安機関が国鉄セティフ駅付近で不審者を発見し追跡すると、同人は所持していたリュックサックを投棄して逃亡。リュックサック内から自爆ベルトが発見。
- 4日、バトナ県において、軍は銃器3丁を所持するテロ支援者5人を逮捕。
- 5日、シュレフ県において、軍は情報に基づきテログループ支援者1人を逮捕。
- 7日、バトナ県において、軍は銃器2丁を所持するテログループ支援者3人を逮捕。
- 10日、タマンラセット県イン・ゲザム地区において、軍はテロ・組織犯罪対策の一環でカラシニコフ小機関銃1丁及び弾筒2個を所持し、バイクで越境を試みたチャド人2人を逮捕。
- 10日、バトナ県及びミラ県において、軍はテログループ支援者5人を逮捕。
- 14日、ブイラ県ガディリア地区において、軍はテロリスト1人（T. ファティ、別称：ヤセル）を逮捕し、カラシニコフ小機関銃1丁、弾筒3個、銃弾195個、双眼鏡1個及び爆発物10キロを押収。
- 20日、トレムセン県において、治安機関はISIL系グループのメンバー5人を逮捕（6人目を捜索中）。同グループは新年の機会にトレムセン市内でテロを画策。家宅捜査でトルコとUAEの査証を有する複数の旅券、航空券、テロ喧伝文書・CD、刃物、多額の金銭等を押収。
- 25日、バトナ県において、軍はテログループ支援者3人を逮捕。

### 4 経済

- 1日～4日、俞建華・商務部副部長兼国際貿易交渉副代表が当地を訪問し、経済・科学技術協力の一環としてアルジェリアに2億元（約3000万ドル）の資金供与を行う協定にアヤディ外務次官と署名。ザアラーン公共事業・運輸大臣と会談し、シェルシェル中央商業港等につき協議。
- 5日、ラウイア財務大臣は来訪の陳元・中国人民政治協商会議全国委員会副主席と会談し、シェルシェル中央商業港等について協議。
- 5日、ソナトラックとDEAG（独）は石油上流部門での協力に関するM

○Uを締結。

- 6日、自動車組立事業に関する新たな政令と仕様書が官報第68号で公布。
- 6日、バトゥナの工場で組立てられたヒュンダイのカウンティー・バス30台が初めて納品。
- 7日、第4回仏アルジェリア高等政府間委員会が開催され、イプセン（仏）と当地イスリー・ホールディング社が合弁企業を立ち上げ、腫瘍学関連の薬品を生産する工場を建設・運営することで合意。投資額は約2500万ユーロの見込み。
- 9日、ザアラーン公共事業・運輸大臣は、シェルシェル中央商業港建設プロジェクトが2018年の着工を前に「最後の修正」の段階にあると発言。また、ベンメラディ商業大臣は同港が将来的にサハラ以南のアフリカへの流通の拠点となり、国際平均より高いアルジェリアのロジスティックスの経費が大幅に軽減されると発言。
- 10日、ギトウーニ・エネルギー大臣はクウェートでエジプトのエル・モッラ・エネルギー大臣とアルジェリアの液化石油ガスと液化天然ガスのエジプトでの販売について協議。液化石油ガスの輸出は年50万トン規模となる見込み。
- 10日、アルジェリア宇宙庁と中国との協力によってアルジェリア初の衛星アルコムサット1号が中国四川省西昌衛星発射センターから打ち上げられた。同衛星は通信衛星として利用され、将来的に複数のテレビ番組の受信、インターネットの高速化、遠隔教育、遠隔医療、テレビ会議等を可能にし、北アフリカとサヘル地域をカバーするという。
- 10日ー16日、オランで第17回Autowest自動車フェアが開催。この中で、ルノー・アルジェリア社は2018年初めに1.5dCiモデルのディーゼル車の組立てを開始すると発表。価格は179万9千ディナールとなる予定。また、ルノーがアルジェリアでの組立生産開始から3年間で10万台の生産と30%の現地調達率を達成したことも明らかに。
- 11日、アルジェリア中央銀行は国内の銀行に対し、貿易業務における為替リスクをカバーするための新しい措置を指示。2018年1月2日より実施。
- 12日、アルズー港からガンビアに向けて16600トンのセメントが輸出された。アルジェリアにとって初めてのセメント輸出オペレーション。
- 16日、ウーヤヒヤ首相はアドラール県を訪れ、ルネッグンのガス・コンプレックス及びティメクタンのセメント工場の落成式に出席。同ガス・コンプレックスはソナトラックとレプソル（西）、RWE-DEA（独）及びエディソン（伊）のパートナーシップにより運営される。同セメント工場は中国との協力の枠組で建設され年間150万トンの生産を見込む。
- 18日、ソナトラックとエニ（伊）が再生可能エネルギー開発に関するMO

Uを締結。

● 18日、ソナトラックがスキクダ大学工学部と石油化学に関する共同研究施設を創設すると発表。

● 19日、ベンメラディ商業大臣は、2018年より自動車を除き現行の輸入ライセンス制度を廃止することを発表。但し、輸入削減のための努力は継続するとし、当面輸入が禁止される900あまりの製品リストを提示した。また、菓子などへの転用を禁じたパン専用の指定小麦を輸入することで、パン屋の不当な利ざやを防止する措置を講ずる旨発言。なお、同大臣は2017年の年間輸入高が450億ドル（2016年467億ドル）となる見込みであることを明らかにし、2018年は年300億ドルにまで削減するよう努めるとあらためて言明。

● 19日、国営電機メーカーENIEのベッカラ社長は、2018年1月より同社初となるスマートフォンの販売を開始すると発表。

● 25日、ウーヤヒヤ首相が産業・鉱業大臣及び財務大臣に宛てた14日付の通達の中で、乗用車及び事業用車両の組立て事業のオペレーターを各5社ずつ、計10社に限定する指示をしていた旨インターネット紙TSAが報じた。乗用車組立て事業の認定オペレーターとして名前が挙げたのは以下：ルノー・アルジェリア、ソヴァック、タフコート、日産及びプジョー。

● 31日、ウーヤヒヤ首相が乗用車及び事業用車両の組み立て事業に携わるオペレーターを各5社ずつに限定する措置を、2018年1月31日まで凍結することを決定した旨各紙が報道。

## 5 日本との関係

● 13日、日本大使公邸で天皇誕生日祝賀レセプションが開催され、ラウイア財務大臣及びメバルキ職業訓練・専門教育大臣が出席。

● 23日、ブーテフリカ大統領は天皇陛下及び安倍総理宛に天皇誕生日の祝電を送付。本年が両国の外交関係樹立55周年にあたることに言及し、関係強化への期待を表明。

● 23～24日、佐藤外務副大臣が当地を訪問し、ユースフィー産業・鉱業大臣及びメサヘル外務大臣と会談。会談後の共同記者会見でメサヘル外務大臣は、日アルジェリア間で租税条約及び投資協定が近々締結されるであろう旨発言。

● 26日、日本国外務省が招へいたシャアブ紙編集長による岡外務省中東アフリカ局長インタビューが同紙に掲載。

● 27日、藤原大使は当地の政財官学界、メディア等のオピニオンリーダー等128名を対象に大使レターを発出。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
12月1日	イタリア	メサヘル外務大臣	ローマ国際会議「地中海対話」に出席。伊のアルファード外務大臣、英のバート中東・北アフリカ担当大臣と会談
12月6日	ケニア	ゼルアティ環境・再生可能エネルギー大臣	第三回国連環境総会に出席
12月7日	フランス	ウーヤヒヤ首相	フィリップ首相と共に仏アルジェリア閣僚級ハイレベル委員会を主催
12月7日	イタリア	メデルシ憲法評議会議長	第113回「法による民主主義のための欧州委員会」（ヴェニス委員会）に出席
12月9日	エジプト	メサヘル外務大臣	6日の米大統領によるエルサレムに関する決定に対するアラブ連盟緊急閣僚会合に出席
12月10日	クウェート	ギトゥーニ・エネルギー大臣	第99回アラブ石油輸出国機構閣僚級会議に出席
12月12日	フランス	メサヘル外務大臣	大統領代理として気候変動に係る「ワン・プラネット・サミット」に出席
12月13日	トルコ	ブハジャ国民議会議長	大統領代理としてイスラム協力機構特別首脳会議に出席
12月14日	ドイツ	ベドゥイ内務・地方自治・国土整備大臣	デメジエール内務大臣と会談。ハメル警察庁長官同行
12月14日	モロッコ	ベンサラ国民評議会議長	「エルサレム支援のための議会議長会合」に出席
12月17～18日	ニジェール	ベドゥイ内務・地方自治・国土整備大臣	バズム内務大臣と会談
12月17～18日	チュニジア	メサヘル外務大臣	リビア問題三か国会合に出席。エセブシ大統領を表敬。サラーム国連特使と会談

12月22日	アゼルバイジャン	アイサ宗教・ワクフ大臣	「文明及び宗教の発展におけるイスラムの連帯の役割に関する国際会議」に出席
12月29日	カタール	ゼルアティ環境・再生可能エネルギー大臣	第3回「アラブ諸国における女性と社会的責任に関する会議」に出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
12月1～4日	中国	俞建華・商務部副部長兼国際貿易交渉副代表	メサヘル外務大臣，ザアラーン公共事業・運輸大臣と会談
12月3日	チュニジア	ベヒ通商大臣	ユースフィー産業・鉱業大臣，ベンメラディ商業大臣と会談
12月3～5日	ギニア	トゥーレ外務大臣	ウーヤヒヤ首相を表敬。メサヘル外務大臣と第3回アルジェリア・ギニア合同委員会を主宰
12月4日	中国	陳元・中国人民政治協商会議全国委員会副主席	ベンサラ国民評議会議長，ブハジャ国民議会議長，ウーヤヒヤ首相及びラウイア財務大臣を表敬
12月4～5日	ハンガリー	バログ外務貿易副大臣	ブアズギー農業・地方開発・漁業大臣と第2回経済合同委員会を主宰。メサヘル外務大臣及びウーヤヒヤ首相を表敬
12月6日	フランス	マクロン大統領	ベンサラ国民評議会議長が空港に出迎え。ブーテフリカ大統領と会談。ウーヤヒヤ首相，ガイド・サラ国防副大臣兼参謀総長が表敬
12月9日	国連	ビーズリー国連世界食糧計画事	ウーヤヒヤ首相を表敬

		務局長	
12月12日	ベネズエラ	モロス大統領	トランジットのためアルジェ空港着。ベンサラ国民評議会議長が応接
12月13日	スペイン	エグレシアス警察庁長官	ダフムネ内務省事務次官と会談
12月15日	ベネズエラ	モロス大統領	トランジットのためアルジェ空港着。ウーヤヒヤ首相が応接
12月17日	リビア	シラージュ首脳評議会代表（国民統一政府首相）	ウーヤヒヤ首相と会談
12月18～21日	サウジアラビア	アール＝シェイク諮問評議会議長	ブーテフリカ大統領を表敬。メデルシ憲法評議会議長，ベンサラ国民評議会議長，ウーヤヒヤ首相，メサヘル外務大臣，ギトゥーニ・エネルギー大臣及びアイサ宗教・ワクフ大臣と会談
12月18日	カタール	ムハンマド副首相兼外相	ウーヤヒヤ首相を表敬，メサヘル外務大臣と会談
12月19日	クロアチア	ハサノヴィッチ・イスラム教指導者（ムフティイ）	ガラマツラー・イスラム最高評議会議長，アイサ宗教・ワクフ大臣と会談
12月20日	コンゴ（共）	ガコツソ外務大臣	ウーヤヒヤ首相を表敬，メサヘル外務大臣と会談
12月21日	チュニジア	ハルブース高等教育・科学研究大臣	ウーヤヒヤ首相を表敬
12月23日	日本	佐藤外務副大臣	メサヘル外務大臣及びユースフィー産業・鉱業大臣と会談
12月25～	トルコ	ボズキル・トル	ベンサラ国民評議会議長，

26日		コ大国民議会外務委員会議長	ブハジャ国民議会議長，ウーヤヒヤ首相及びメサヘル外務大臣を表敬
-----	--	---------------	---------------------------------

(了)